

平27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	遊休地を活用した農業体験を通じた街づくり
事業主体 (連絡先)	岡谷市岡谷区 0266-22-2603
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	981,346円 (うち支援金: 690,000円)

事業内容

- 管理不在の遊休地の活用約 4,960 m² (前年 2,500 m²) の耕作
- 小学生から高齢者までの幅広い参加
小学生植付け 45名収穫 45名、一般延 390名参加
- 農業体験を通じた学習、土づくり、植付け、追肥、作付け等時期に応じた講師1名による都度講習
9種類の作物を植付け7種類収穫
- 収穫物を活用した料理体験、漬物講習、ソバ打ち講習など幅広い参加による街づくり
- 果樹栽培など長期継続的事业への基礎作りとしてブルーベリー60本の植付け、イチゴハウス(ピニルハウス)の準備を行った



(活動写真)

【小学生による
さつま芋収穫】

【目標・ねらい】

- ① 荒廃遊休地の活用
- ② 農業未体験者の参加
- ③ 高齢者から小学生までの参加
- ④ 収穫物を活用した講習会

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 農業委員会を構成し会員 23名により1年間主体的に運営、都度参加者を含め年間延べ 390名による活動
- 栽培野菜はじゃが芋(収穫 120kg) さつま芋(収穫 100kg) 大根(収穫 200本) そば(収穫 90kg) ネギ(5,000本) 玉ねぎ(栽培中)
- さつま芋は岡谷小学校4年生により植付けと収穫、焼き芋大会は全校生徒で実施
- ソバはソバ打ち講習会に使用し、試食は区民約 150名
- 大根は漬物講習会に活用、漬物は区民の会合に利用中
- ブルーベリーは3年後の収穫を目指している

※自己評価【A】

【理由】
遊休地提供者が増加し、選考する状況になってきた
収穫物も食材として各種会合等に活用した高齢者福祉事業に活用できた

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 活動を区民に伝え、広がりを深めたい
- 耕作面積を広げ栽培品目を増やす
- 耕作途上の耕地にブルーベリー等、長期に栽培収穫できるものへ計画栽培に取り組む
- 収穫物を活用した料理、漬物等の講習会で活性化を図る

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある